

# 端末・配信状況調査 抜粋

事業者	製品名	製品の用途 A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御 C 端末の報知による人の危険回避	(1) 端末基礎機能			(3) 報知・制御出力条件設定機能								
			訓練報により訓練支援の報知ができる できる:○ できない:×	訓練報により訓練用の外部出力を動作できる できる:○ できない:×	端末単独で訓練報知できる できる:○ できない:×	緊急地震速報(警報)による動作	報知音の選択	予想した震度や猶予時間の報知を具体的な数値を使わない表現にしているか? 利用者側で表示選択できる: ◎ している:○ していない:×	緊急地震速報の精度情報による動作	100ガル超え緊急地震速報に対する動作	ある地震の緊急地震速報を受信した後、続けて別の地震の緊急地震速報を受信した場合の動作	深発地震についての緊急地震速報(表)に対する動作	キャンセル報を受信した際の動作	
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	ユレキテル	A, C	× 別途トレーニング機能で実施可能	× 別途トレーニング機能で実施可能	○	接点動作内容任意	不可(追加機器により対応可)	×(高度利用者向けであるため、具体的表示のみ)	固定	×	最大予測震度、最先到達時刻を優先	なし	なし	
株式会社エイソー	HomeSeismo(ホームサイズモ)	A, C	できる:○	できる:○ ベーンクプランはワンショット(設定した時間接点出力動作)については、訓練報では動作させない設定可。 放送連動(ガイダンスが流れている間接点出力動作)については、必ず動作。	できる:○ 「動作確認(試験放送)」で可能	無し	NHK音またはREIC音の選択機能有り(デフォルトはNHK音)	利用者側でガイダンス内容を選択できる:◎	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	動作しない	大きい方の予測震度、短い方の猶予時間をお知らせ	設定機能有り(デフォルトは動作しない)	ガイダンス発報中は、緊急地震速報ガイダンスを中止し、キャンセル報を受信お知らせ。放送連動設定の接点はガイダンス終了と共に動作終了。ワンショット設定の接点の動作はキャンセル報に影響されない。 ガイダンス終了後は、最後に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときに、お知らせするか設定機能有り(デフォルトはお知らせしない)。放送連動設定の接点のみ動作。ワンショット設定にした接点は動作しない)	
	緊急地震速報受信装置	A	○	○	○ テストコマンドで可能	無し	音声ファイルの変更により報知音の変更可能。基本的にはNHK報知音を採用。 ※パナソニック電気製インターホンが使用されている場合のみREIC報知音を使用。	× あいまい表現なし	設定機能有り。デフォルトは1観測点の緊急地震速報は採用しない。	動作しない(100ガル超えの緊急地震速報には地震情報が含まれていないため破棄します)	最初の地震で予測震度が震度閾地を超えた場合一続きで受信した別地震は採用しない。 最初の地震で予測震度が震度閾地を超えない場合一続きで受信した別地震の予測震度が震度閾地を超えた場合動作。	採用しない。	既に報知した地震に対して動作中にキャンセル報を受信した場合のみ動作する。	
株式会社先端力学シミュレーション研究所	緊急地震速報活用防災システムASU-QUICK	B, C	○	外部出力なし	×	設定機能あり:1点処理でも表示する。2点以上の処理時のみ表示する。警報発表時のみ表示する。警報対象時のみ表示する。の中から選択。(デフォルト:2点以上の処理時のみ表示する)	設定機能あり:デフォルトはNHK音	×	設定機能あり:1点処理でも表示する。2点以上の処理時のみ表示する。警報発表時のみ表示する。警報対象時のみ表示する。の中から選択。(デフォルト:2点以上の処理時のみ表示する)	設定機能なし:動作しない	設定機能なし:常に新しいものに更新される。	設定機能なし:動作しない	既に出力した地震に対してキャンセル報が出されたときのみに動作する。	
	ASU-QUICK放送設備連動オプション	A, B	○	○	○	設定機能あり:接点出力条件で、1点処理でも放送を実施する。2点以上の処理時のみ放送を実施する。警報対象時のみ放送を実施する。の中から選択。(デフォルト:2点以上の処理時のみ放送を実施する)	設定機能あり:デフォルトはNHK音	○:画面では具体的な数値を使うが、外部出力では具体的な数値を使わない。	設定機能あり:接点出力条件で、1点処理でも放送を実施する。2点以上の処理時のみ放送を実施する。警報対象時のみ放送を実施する。の中から選択。(デフォルト:2点以上の処理時のみ放送を実施する)	設定機能なし:動作しない。	設定機能なし:常に新しいものに更新される。	設定機能なし:動作しない	既に出力した地震に対してキャンセル報が出されたときのみに動作する。	
	鉄道事業者向け緊急地震速報受信システムQuick-i	A, B	×	×:誤作動防止のため、訓練報は常に破棄する。	×	×	設定機能なし:動作しない	設定機能なし(PCからは音の出力はない。ネットワーク信号灯、表示端末には内蔵されている報知音選択あり)	○:画面では具体的な数値を使うが、外部出力では具体的な数値を使わない。	設定機能あり:震源決定を条件としない。2点以上の処理のみ採用。の中から選択。(デフォルト:2点以上の処理のみ採用)	設定機能なし:動作しない。	設定機能あり:随時更新、ピークホールド(予測震度がより大きいとき更新)、初期値ホールド(更新しない)から選択。デフォルトはピークホールド。	設定機能なし:動作しない	既に出力した地震に対してキャンセル報が出されたときのみに動作する。
	Tacy-Quick	A, B	○	○	×	設定機能なし:動作しない	設定機能あり(デフォルト:NHK音)	○:画面・表示端末では具体的な数値を使うが、外部出力では具体的な数値を使わない。	設定機能あり:震源決定フラグを条件としない。2点以上の処理結果のみ採用。5点以上の処理結果のみ採用。2点以上の処理結果のみ採用)	設定機能なし:動作しない。	設定機能なし:常に新しいものに更新される。	設定機能なし:動作しない	設定機能あり:既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたとき出力する。出力しないから選択。(デフォルト:既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたとき出力する)	
	告知放送受信端末	A, C	○	×	×	×	設定機能なし:動作しない	設定機能あり(デフォルト:オリジナルサイレン音)	×	設定機能あり:震源決定フラグを条件としない。2点以上の処理結果のみ採用から選択。	設定機能なし:動作しない	設定機能なし:常に新しいものに更新される。	設定機能なし:動作しない	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみに動作する。
	MZK-WDPR(PCD-SSWU01)	C	○:ただし現時点ではウェザーニュースから訓練報は配信されていない。	外部出力なし	×	×	設定機能なし:動作しない	設定機能なし:NHK音	×	設定機能なし:2地点以上の緊急地震速報のみ使用。	設定機能なし:動作しない	音声出力中は、別の地震の緊急地震速報の出力は行わない。	設定機能なし:動作しない	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみに動作する。
情報事務資材株式会社	緊急地震速報受信装置	該当なし	×	×	○	あり	なし	×	あり	通常通り	最新の地震情報を報知	設定により各端末に報知	端末に対して取消しを指示	
	表示ソフトウェア	C	×	×	×	あり	NHK音のみ	×	あり	通常通り	“深発地震発生”を表示 地図上に震源マークを表示	取消しました。のメッセージ表示		
	カウンタダウン表示器	C	×	×	×	N/A	独自音(ビーロービーロー)	×	N/A	N/A	深発地震発生用のマーク表示	表示が全て消える		
株式会社ANET	緊急地震速報受信・通報システム	A	×	×	○	事前設定	可能	×(高度利用者向けであるため、具体的表示のみ)	事前設定	事前設定	排他処理機能有り	事前設定	事前設定	
	EQMessenger DX	A	×	×	○(ANETサーバからのテスト報も利用可能)	接点動作内容任意	可能	×(高度利用者向けであるため、具体的表示のみ)	固定	×	排他処理機能有り	なし	なし	
	EQMessenger 7	A	×	×	○(ANETサーバからのテスト報も利用可能)	音量・接点動作内容任意	可能	×(高度利用者向けであるため、具体的表示のみ)	固定	×	排他処理機能有り	なし	なし	
	EQMessenger Std	C	×	×	○(ANETサーバからのテスト報も利用可能)	音量任意	可能	×(高度利用者向けであるため、具体的表示のみ)	固定	×	排他処理機能有り	なし	なし	
	EQ+	A, B, C	×	×	○	音量任意	可能	×(高度利用者向けであるため、具体的表示のみ)	固定	×	排他処理機能有り	なし	なし	
	FTE-ANT	A, B, C	×	×	○(パナソニック社製端末の機能。ANETサーバからのテスト報も利用可能)	接点動作内容任意	可能	×(高度利用者向けであるため、具体的表示のみ)	固定	×	排他処理機能有り	なし	画面表示	
FTE-MJ	A, B, C	○ 配信サーバから訓練報を地震速報として送信され、端末で受信することにより、訓練報により訓練支援の報知が可能となります。	○ 実際の地震速報受信時の設定で外部出力リレーを動作するように設定しておれば、訓練報を配信サーバ側で実際の地震速報として送信することにより訓練用の外部出力を動作できます。	○ 本体機能に単独で動作するデモモードがあり、実際に受信する地震速報を設定し、端末単独で訓練報知可能。	(予報)との区別なし	可能	◎	なし	100ガル超え緊急地震速報は、配信サーバから配信されない。	配信サーバ側にて設定可能	深発地震の緊急地震速報は、配信サーバから配信されない。	地震に対してキャンセル報が出されたときにのみ動作する。		

# 端末・配信状況調査 抜粋

事業者	訓練報を受信した際の動作	テスト報を受信した際の動作	(4) 配信・許可事業者の能力					
			配信・許可事業者の通信能力	サーバーの機能	配信・許可事業者によるサポート			ガイドラインに記された必須項目を全て満たした場合にはその旨を公開
			複数サーバーから端末に緊急地震速報を同時に配信している: ○ していない: ×	端末毎に利用者の求めに応じて訓練報・テスト報配信可能 どちらも配信している: 1 テスト報のみ配信している: 2 訓練報のみ配信している: 3 どちらも配信していない: ×	利用者に連絡する手段あり	利用者の利用方法の把握	サーバー-端末間の通信手順やデータフォーマットを公開 公開する: ○ 公開しない: ×	
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	一部可(カスタマイズ対応)	N/A	○	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡</li> <li>大きい地震の場合当日(または翌日)速報を送付</li> <li>毎月ニュースレターを送付</li> </ul>	販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内	×(データフォーマットについては、秘密保持契約締結先には公開)	(ガイドライン制定時には対応予定) 現状は既に明示している
株式会社エイソー	訓練報を受信するかの設定機能あり。ユーザー登録時に選択。受信する場合、訓練報を受けた際に始めと終わりに訓練である旨のガイダンスが流れる。ベシックプランは、ワンショット設定の接点について動作させるか選択可。デフォルトは動作する	インターネット上のユーザーページからユーザー自身がテスト報(震度、猶予時間を設定可)を配信する機能あり (受信時には、始めと終わりに訓練である旨のガイダンスが流れる他は、通常の緊急地震速報と同じように動作。ベシックプランは、ワンショット設定の接点についてのみ、動作させるか選択可。デフォルトは動作する)	将来対応予定	どちらも配信している: 1 テスト報は利用者自身がインターネット上のユーザーページより配信	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>エイソーは把握していない</li> <li>代理店によっては運用までサポート可</li> </ul>	△:公開可能なものは公開する。セキュリティ上公開できないものもあり。	(ガイドライン制定時には対応予定)
	設定機能あり。訓練報を採用した場合は試験であり本当の地震ではない事をアナウンスする。	設定機能あり。テスト報を採用した場合は試験であり本当の地震ではない事をアナウンスする。	○	1	各端末の設置場所の連絡先を所有(主にマンション設置のため管理会社、管理人室) 端末メンテナンス時などは管理会社経由で入居者への告知を書面で行う。	弊社が端末を導入後、ユーザーが設定変更などはできない。 ※端末メンテナンス等はシーフライブが実施。	△:公開可能なものは公開する。セキュリティ上公開できないものもあり。	(ガイドライン制定時には対応予定)
株式会社先端力学シミュレーション研究所	設定機能あり:デフォルトでは動作しない設定。動作する設定では、訓練報受信時にPC画面に「訓練報」と表示。	(a)設定機能あり:テストフラグのついた電文をテスト報として送信可能。訓練報と同じ動作をする。	(a) ○	(a) 2	(a)気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡。大きい地震の場合、当日(または翌日)速報を送付。毎月ニュースレターを送付	(a)販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内。	○:秘密保持契約の上、配信事業者より手順・フォーマットが公開されている。	ガイドライン制定時には対応予定。
		(b)設定機能あり:テストフラグのついた電文をテスト報として送信可能。訓練報と同じ動作をする。	(b) ×	(b) 2	(b)気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡。大きい地震の場合、当日(または翌日)速報を送付。毎月ニュースレターを送付	(b)販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内。		
		(c)設定機能なし:顧客専用のWeb画面から本物と同じ電文をテスト報として送信可能。この場合、本物と同じ動作をする。	(c) ×	(c) 1:利用者がユーザーWeb画面から指定することで可能。	(c)顧客専用のメーリングリストを作成して、気象庁からの情報を配信。	(c)顧客導入時に、顧客毎に管理表を作成して利用形態を把握。		
		(d)設定機能なし:動作しない	(d) ○	(d) 2:端末から指定することで可能。	(d)気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メールで連絡。	(d) 端末設置時に利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用について助言を実施。		
		(e)設定機能なし:動作しない	(e) ×	(e) ×	(e) 気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メール・サービス専用WEBで連絡。	(e)サービス契約時に利用者の利用形態を把握し、必要に応じて緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施。		
	設定機能あり:デフォルトでは動作しない設定。動作する設定では、訓練報に対応する接点出力が行われる。	(a)設定機能あり:テストフラグのついた電文をテスト報として送信可能。訓練報と同じ動作をする。	(a) ○	(a) 2	(a)気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡。大きい地震の場合、当日(または翌日)速報を送付。毎月ニュースレターを送付	(a)販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内。	○:秘密保持契約の上、配信事業者より手順・フォーマットが公開されている。	ガイドライン制定時には対応予定。
		(b)設定機能あり:テストフラグのついた電文をテスト報として送信可能。訓練報と同じ動作をする。	(b) ×	(b) 2	(b)気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡。大きい地震の場合、当日(または翌日)速報を送付。毎月ニュースレターを送付	(b)販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内。		
		(c)設定機能なし:顧客専用のWeb画面から本物と同じ電文をテスト報として送信可能。この場合、本物と同じ動作をする。	(c) ×	(c) 1:利用者がユーザーWeb画面から指定することで可能。	(c)顧客専用のメーリングリストを作成して、気象庁からの情報を配信。	(c)顧客導入時に、顧客毎に管理表を作成して利用形態を把握。		
		(d)設定機能なし:動作しない	(d) ○	(d) 2:端末から指定することで可能。	(d)気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メールで連絡。	(d) 端末設置時に利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用について助言を実施。		
		(e)設定機能なし:動作しない	(e) ×	(e) ×	(e) 気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メール・サービス専用WEBで連絡。	(e)サービス契約時に利用者の利用形態を把握し、必要に応じて緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施。		
設定機能なし:常に破棄する(誤動作防止のため)	設定機能あり:画面表示のみ行つか、接点出力まで行つか選択できる。画面上では、「テスト報」と表示される。	○	2: 端末から指定することで可能。	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メールで連絡。	端末設置時に利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用について助言を実施。	○:秘密保持契約の上、配信事業者より手順・フォーマットが公開されている。	ガイドライン制定時には対応予定。	
設定機能あり:デフォルトは動作しない。動作する設定では、画面表示では「訓練報」と表示される。外部出力は本物と同じ動作。	設定機能あり:デフォルトでは動作しない。PCソフト内でのテスト地震により、画面表示では「テスト」と表示し、外部出力は本物と同じ動作をする。	○	1:利用者がユーザーWeb画面から指定することで可能。	顧客専用のメーリングリストを作成して、気象庁からの情報を配信。	導入時に利用形態を把握。設置工事まで一貫して行うため、先に接続される機器についても把握している。	○:秘密保持契約の上、配信事業者より手順・フォーマットが公開されている。	ガイドライン制定時には対応予定	
設定機能あり:デフォルトは動作しない。動作する設定では、本物と同じ動作をする。訓練報出力時には、事前に訓練を行う旨の放送をセンターから行う運用とする。	端末には設定機能なし:動作する。センターソフトでテスト報を出力するグループを選択して、一部のグループに対してテスト報の出力が可能。テスト出力では、「ただいまから緊急地震速報の試験放送を行います」と2回報知する。	×	放送型のため。	×	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を通知している。	×	告知システムの一部であるため、センター設備と端末間の仕様のみを取り出すことはできない。従って公開しない。	ガイドライン制定時には対応予定
設定機能あり:デフォルトは動作しない。動作する設定では、音声出力開始時に「ただいまから、緊急地震速報の訓練を行います。」、終了時に「緊急地震速報の訓練を終了します。」と報知。また、画面上にも訓練報と表示。	テストは端末内の「テスト出力」ボタンからのみ行える。配信事業者からのテスト報配信はない。音声出力開始時に「ただいまから、緊急地震速報のテスト出力を行います。」、終了時に「緊急地震速報の訓練を終了します。」と報知。また、画面上にもテストと表示。	×	×	あり(電話、郵送、端末の画面表示が可能)	データベースにて管理。ただし、端末は外部出力機能を持たないため、端末からの報知以外の用途には使用できない。	○:秘密保持契約の上、配信事業者より手順・フォーマットが公開されている。	ガイドライン制定時には対応予定	
情報事務資材株式会社	何もしない	設定により報知(表示、音声)	○	2	あり	把握	×	明示する
	何もしない	ファイルに保存	N/A	N/A	あり	把握	N/A	明示する
	N/A	全表示が点滅	N/A	N/A	あり	把握	N/A	明示する
株式会社A NET	なし	なし	○	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡</li> <li>大きい地震の場合当日(または翌日)速報を送付</li> <li>毎月ニュースレターを送付</li> </ul>	販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内	×(データフォーマットについては、秘密保持契約締結先には公開)	(ガイドライン制定時には対応予定) 現状は既に明示している
	なし	通常と同じ	○	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡</li> <li>大きい地震の場合当日(または翌日)速報を送付</li> <li>毎月ニュースレターを送付</li> </ul>	販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内	×(データフォーマットについては、秘密保持契約締結先には公開)	(ガイドライン制定時には対応予定) 現状は既に明示している
	なし	通常と同じ	○	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡</li> <li>大きい地震の場合当日(または翌日)速報を送付</li> <li>毎月ニュースレターを送付</li> </ul>	販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内	×(データフォーマットについては、秘密保持契約締結先には公開)	(ガイドライン制定時には対応予定) 現状は既に明示している
	なし	なし	○	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡</li> <li>大きい地震の場合当日(または翌日)速報を送付</li> <li>毎月ニュースレターを送付</li> </ul>	販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内	×(データフォーマットについては、秘密保持契約締結先には公開)	(ガイドライン制定時には対応予定) 現状は既に明示している
	なし	通常と同じ	○	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡</li> <li>大きい地震の場合当日(または翌日)速報を送付</li> <li>毎月ニュースレターを送付</li> </ul>	販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内	×(データフォーマットについては、秘密保持契約締結先には公開)	(ガイドライン制定時には対応予定) 現状は既に明示している
	なし	通常と同じ	○	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメールで連絡</li> <li>大きい地震の場合当日(または翌日)速報を送付</li> <li>毎月ニュースレターを送付</li> </ul>	販売時事後も利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用についてご案内	×(データフォーマットについては、秘密保持契約締結先には公開)	(ガイドライン制定時には対応予定) 現状は既に明示している
気象庁より配信される訓練報は、端末へは配信されない。一方、設定により配信サービスによる訓練報の配信が可能。この場合、端末は緊急地震速報と同じ動作を行う。	テスト報は、端末へは配信されない。	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

# 端末・配信状況調査 抜粋

事業者	製品名	製品の用途 A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御 C 端末の報知による人の危険回避	(1) 端末基礎機能			(3) 報知・制御出力条件設定機能							
			訓練報により訓練支援の報知ができる できる:○ できない:×	訓練報により訓練用の外部出力を動作できる できる:○ できない:×	端末単独で訓練報知ができる できる:○ できない:×	緊急地震速報(警報)による動作	報知音の選択	予想した震度や猶予時間の報知を具体的な数値を使わない表現にしているか? 利用者側で表示選択できる: ○ している:○ × していない:×	緊急地震速報の精度情報による動作	100ガル超え緊急地震速報に対する動作	ある地震の緊急地震速報を受信した後、続けて別の地震の緊急地震速報を受信した場合の動作	深発地震についての緊急地震速報(警)に対する動作	キャンセル報を受信した際の動作
三菱スペース・ソフトウェア株式会社	QCAST 受信ユニット	A, C	○	○	○	なし(通信記録のみ)	設定機能有り(デフォルトはNHK音)	○	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	100ガル超え緊急地震速報は、配信サーバから配信されない。	到着順に 動作設定に従って処理する	深発地震の緊急地震速報は、配信サーバから配信されない。	有効時間以内のキャンセル報はキャンセル動作 する/しない設定可(デフォルト「する」) キャンセル動作を以下に示す ・表示消灯、音声停止 ・キャンセル音声 ・動作接点解除 ・キャンセル接点出力 ・ログ記録 ただし、同時刻に複数の地震発生の場合キャンセル報を原則受け付けない。
明星電気株式会社	QCAST 受信ユニット	A, C	○	○	○	なし(通信記録のみ)	設定機能有り(デフォルトはNHK音)	○	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	報知/制御出力しない	到着順に動作設定に従って処理する	設定機能有り(デフォルトは通常動作と同じ)	有効時間以内のキャンセル報はキャンセル動作 する/しない設定可 デフォルト「する」 キャンセル動作を以下に示す ・表示消灯、音声停止 ・キャンセル音声 ・動作接点解除 ・キャンセル接点出力 ・ログ記録 ただし、同時刻に複数の地震発生の場合キャンセル報を原則受け付けない。
	QCAST 受信装置	A, C	○	×	○	なし(通信記録のみ)	設定機能有り(デフォルトはNHK音)	○	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	報知/制御出力しない	到着順に動作設定に従って処理する	設定機能有り(デフォルトは通常動作と同じ)	有効時間以内のキャンセル報はキャンセル動作 する/しない設定可 デフォルト「する」 キャンセル動作を以下に示す ・表示消灯、音声停止 ・キャンセル音声 ・動作接点解除 ・キャンセル接点出力 ・ログ記録 ただし、同時刻に複数の地震発生の場合キャンセル報を原則受け付けない。
	QCAST 警報ユニット	A, C	×	×	×	なし(通信記録のみ)	設定機能有り(デフォルトはNHK音)	○	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	設定機能有り(デフォルトは、報知/制御出力しない)	到着順に動作設定に従って処理する	設定機能 なし	有効時間以内のキャンセル報はキャンセル動作 する/しない設定可 デフォルト「する」 キャンセル動作を以下に示す ・表示消灯、音声停止 ・キャンセル音声 ・動作接点解除 ・キャンセル接点出力 ・ログ記録
株式会社ハレックス	緊急地震速報提供システム "なまずきん"	A, B, C	○	○	○	設定機能有(デフォルトは動作なし)	設定機能有(デフォルトは当社独自音)	○	設定機能有(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	設定機能有(デフォルトは、使用しない)	入電順に表示	設定機能有(デフォルトは動作する)	発表表示の情報に対してのみ動作する。
	FTE-D04型	A, C	○	N/A	○	製造元の仕様による	製造元の仕様による	N/A	製造元の仕様による	製造元の仕様による	製造元の仕様による	製造元の仕様による	製造元の仕様による
	なまずきん Desktop	C	○	×	×	設定機能なし	不可。地震情報や現在地への到達時刻は、言葉による音声にて報知する方式。	○	動作する。	動作する。	地震IDが異なり、現在報知中の地震到達予測が10秒以内で無く、フィルタリング条件を満たせば新着の地震情報を報知する。	設定機能なし。700kmより深い場合は深さ700kmとして計算続行。変更可能。	動作する。
白山工業株式会社	表示ソフトウェア	B, C	○	×	○	設定機能有り。	設定機能有り。	○	受信履歴に文字にて震源情報のみ表示。画面には使用しない。	予測震度が大きい・猶予時間が短い、のいずれかを報知。完了後に別の地震の緊急地震速報を報知。	震源情報とEBIを表示。震度計算は行わない。	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。	
	緊急地震速報 受信機	A, B, C	○	○	○	設定機能有り。	無し。(接点に接続された機器に依存)	○	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	設定機能有り(デフォルトは、使用しない)	震度計算は行わない。受信ログは残す。	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。	
株式会社 小編研二研究所	基幹システム	A, C	○	○	○	デフォルトは対応無し(設定により対応も可能)	設定機能有り(デフォルトはNHKのチャイム音)	○	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報を使用する)	設定機能有り(デフォルトは、使用しない)	予測震度の大きくなった場合、到着予定までの秒数が短くなった場合に報知	別途申請している震度予測方法であり、震度予測可能であるため、報知することが可能	既に放置した地震に対してキャンセル報が出された時のみ動作する
独立行政法人防災科学技術研究所	緊急地震速報受信システム	C(ハード+ソフトを機能追加し、Aの実験は過去に実施)	×	×	×	設定機能無し(報知しない)	設定機能無し(固定音)	×	設定機能無し	設定機能無し(但し、マグニチュードがないため、震度0となり報知しない)	後の地震を報知	設定機能無し(デフォルトは動作しない)	未対応
アールシーソリューション株式会社	ゆれるコール™ クライアントアプリケーション	A, C	×	×	○	設定機能なし	設定機能有り(デフォルトはREIC音)	×	設定機能なし	設定機能なし	設定機能なし	設定機能なし(深発地震の場合はサーバ側で処理対象外とする)	設定機能なし(サーバ側で既に報知した地震に対してキャンセル報を出すよう制御)
	緊急地震速報表示端末	A, C	×	×	○	設定機能なし	設定機能なし	×	設定機能なし	設定機能なし	設定機能なし	設定機能なし(深発地震の場合はサーバ側で処理対象外とする)	設定機能なし(サーバ側で既に報知した地震に対してキャンセル報を出すよう制御)
株式会社ジュビターテレコム	緊急告知放送端末装置	C	○	×	○	なし	不可(REIC音で固定)。	×	機能なし ただし、受信装置兼通信装置での閾値設定は可能。	キャンセル報と同じ動作を行う。 ※現在は配信事業者側でカット。	識別IDに関わらず、受信の都度演算を行い、その時点で最も大きな予測震度で報知を行う。	通常の電文と同様に演算・報知する。	報知履歴の有無に関わらず、「先ほどの地震速報は誤りです」のアイコンを2回繰り返す。 ※接点出力は、キャンセル報用の主力端子が動作。
	緊急地震速報端末装置	A	○	○	○	なし	可(デフォルトはREIC音)。	○	機能なし ただし、受信装置兼通信装置での閾値設定は可能。	キャンセル報と同じ動作を行う。 ※現在は配信事業者側でカット。	識別IDに関わらず、受信の都度演算を行い、その時点で最も大きな予測震度で報知を行う。	通常の電文と同様に演算・報知する。	報知履歴の有無に関わらず、「先ほどの地震速報は誤りです」のアイコンを2回繰り返す。 ※接点出力は、キャンセル報用の主力端子が動作。
	緊急地震速報端末装置	A	○	○	○	なし	可(デフォルトはREIC音)。	○	機能なし ただし、受信装置兼通信装置での閾値設定は可能。	キャンセル報と同じ動作を行う。 ※現在は配信事業者側でカット。	識別IDに関わらず、受信の都度演算を行い、その時点で最も大きな予測震度で報知を行う。	通常の電文と同様に演算・報知する。	報知履歴の有無に関わらず、「先ほどの地震速報は誤りです」のアイコンを2回繰り返す。 ※接点出力は、キャンセル報用の主力端子が動作。
	緊急地震速報システム受信端末	C	○	×	○	なし	不可(REIC音で固定)。	×	機能なし ただし、受信装置兼通信装置での閾値設定は可能。	キャンセル報と同じ動作を行う。 ※現在は配信事業者側でカット。	識別IDに関わらず、受信の都度演算を行い、その時点で最も大きな予測震度で報知を行う。	通常の電文と同様に演算・報知する。	報知履歴の有無に関わらず、「先ほどの地震速報は誤りです」のアイコンを2回繰り返す。 ※接点出力は、キャンセル報用の主力端子が動作。
	緊急地震速報システム受信端末	A	○	○	○	なし	可(デフォルトはREIC音)。	○	機能なし ただし、受信装置兼通信装置での閾値設定は可能。	キャンセル報と同じ動作を行う。 ※現在は配信事業者側でカット。	識別IDに関わらず、受信の都度演算を行い、その時点で最も大きな予測震度で報知を行う。	通常の電文と同様に演算・報知する。	報知履歴の有無に関わらず、「先ほどの地震速報は誤りです」のアイコンを2回繰り返す。 ※接点出力は、キャンセル報用の主力端子が動作。

## 端末・配信状況調査 抜粋

事業者	訓練報を受信した際の動作	テスト報を受信した際の動作	(4) 配信・許可事業者の能力						
			配信・許可事業者の通信能力	サーバーの機能	配信・許可事業者によるサポート			サーバー-端末間の通信手順やデータフォーマットを公開 公開する: ○ 公開しない: ×	ガイドラインに記された必須項目を全て満たした場合にはその旨を公開
			複数サーバーから端末に緊急地震速報を同時に配信している: ○ していない: ×	端末毎に利用者の求めに応じて訓練報・テスト報配信可能 どちらも配信している: 1 テスト報のみ配信している: 2 訓練報のみ配信している: 3 どちらも配信していない: ×	利用者に連絡する手段あり	利用者の利用方法の把握	○		
三菱スペース・ソフトウェア株式会社	気象庁より配信される訓練報は、端末へは配信されない。 一方、設定により配信サービスによる訓練報の配信が可能。この場合、端末は緊急地震速報と同じ動作を行う。	テスト報は、端末へは配信されない。	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	
明星電気株式会社	設定機能有り(デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、訓練報を受けた際には報知音の後に「これは訓練報です。地震ではありません。」を報知し、推定震度、猶予時間の表示を行う)制御接点は個別に動作設定が可能	配信事業者により下記2つに分かれます ・動作テストアナウンス ・通常地震アナウンス	該当しない	該当しない	販売店及び営業担当より気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせ等を電話・メールで連絡	販売店及び営業担当は利用者の利用形態の把握に努め、緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施	○	ガイドライン制定時には対応予定	
	設定機能有り(デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、訓練報を受けた際には報知音の後に「これは訓練報です。地震ではありません。」を報知し、推定震度、猶予時間の表示を行う)制御接点は個別に動作設定が可能	配信事業者により下記2つに分かれます ・動作テストアナウンス ・通常地震アナウンス	該当しない	該当しない	販売店及び営業担当より気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせ等を電話・メールで連絡	販売店及び営業担当は利用者の利用形態の把握に努め、緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施	○	ガイドライン制定時には対応予定	
	設定機能あり。デフォルトは動作しない動作する設定では通常地震動	配信事業者により下記2つに分かれます ・動作テストアナウンス ・通常地震アナウンス	該当しない	該当しない	販売店及び営業担当より気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせ等を電話・メールで連絡	販売店及び営業担当は利用者の利用形態の把握に努め、緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施	○	N/A	
株式会社ハレックス	設定機能有(デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、実際の地震の際と同じ動作)	設定機能有(デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、実際の地震の際と同じ動作)	○	1	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメール・電話等で連絡	端末販売時に利用者の利用形態を把握するとともに、緊急地震速報の発信状況や効果、地震に関する話題等をまとめたマンスリーレポートを発行し、ウェブサイトに掲載。	○	ガイドライン制定時には対応可能	
	製造元の仕様による	製造元の仕様による	×	1	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等をメール・電話等で連絡	端末販売時に利用者の利用形態を把握するとともに、緊急地震速報の発信状況や効果、地震に関する話題等をまとめたマンスリーレポートを発行し、ウェブサイトに掲載。	N/A	ガイドライン制定時には対応可能	
	動作する。	動作する。	×	×	N/A	緊急地震速報の発信状況や効果、地震に関する話題等をまとめたマンスリーレポートを発行し、ウェブサイトに掲載。	N/A	N/A	
白山工業株式会社	設定機能有り。(デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、訓練報を受けた際は、画面上に「訓練」と表示)	訓練報と同じ。ただし画面上に「テスト」と表示。ここで「テスト報」とは識別符20を指す。	N/A	N/A	直販以外は代理店を経由しての連絡となる。	防災センターなどに画面表示。	N/A	メリットがあれば対応したい。	
	設定機能有り。(デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、訓練報を受けた際は、ログに「訓練」と表示)	訓練報と同じ。ただしログ上に「テスト」と表示。ここで「テスト報」とは識別符20を指す。	N/A	N/A	直販以外は代理店を経由しての連絡となる。	エレベータ制御、非常放送・業務放送の鳴動、自動ドア制御、など。個別には把握していない。	N/A	メリットがあれば対応したい。	
株式会社 小堀二研究所	設定機能有り(デフォルトは動作しない設定)	設定機能有り(デフォルトは動作しない設定)	-	-	電話・メールで連絡	変更もこちらの対応なしでは出来ないもので、利用形態はすべて把握している。	-	(ガイドライン制定時には対応予定) (配信者は客先が選定し、契約するものであり、当方の所管外。)	
独立行政法人防災科学技術研究所	設定機能無し(サーバー側で送信に制限をかけているため、送られてこない)	設定機能無し(サーバー側で送信に制限をかけているため、送られてこない)	×	×	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メールで連絡	実験として実施しているため、適宜、意見交換を実施	×	(ガイドライン制定時には対応予定)	
アールシーソリューション株式会社	設定機能なし	設定機能なし	×	2	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メールで連絡	ソフトウェア販売時に利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施	○	ガイドライン制定時には対応予定	
	設定機能なし	設定機能なし	×	2	気象庁からの訓練等の緊急地震速報に係るお知らせやサーバー保守によるサービス停止の通知等を電話・メールで連絡	端末販売時に利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施	○	ガイドライン制定時には対応予定	
株式会社ジュビターテレコム	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	○ ※ただし、通信装置(HE制御装置)～端末間は1対1(放送)。	2	【配信事業者】 配信先(CATV局)への連絡が可能。 【許可事業者】 提供事業者(CATV局)への連絡が可能。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者へ、メール・ホームページ告知・電話などでの連絡が可能。	【配信事業者/許可事業者】 配信契約時(システム・端末導入時)に、提供事業者向けに適切な利用について説明し、継続して情報提供を行う。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者との契約時に、実利用者向けに、適切な利用について説明。	×	満たした場合には、自社媒体などで発表予定。	
	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	○ ※ただし、通信装置(HE制御装置)～端末間は1対1(放送)。	2	【配信事業者】 配信先(CATV局)への連絡が可能。 【許可事業者】 提供事業者(CATV局)への連絡が可能。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者へ、メール・ホームページ告知・電話などでの連絡が可能。	【配信事業者/許可事業者】 配信契約時(システム・端末導入時)に、提供事業者向けに適切な利用について説明し、継続して情報提供を行う。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者との契約時に、実利用者向けに、適切な利用について説明。	×	満たした場合には、自社媒体などで発表予定。	
	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	○ ※ただし、通信装置(HE制御装置)～端末間は1対1(放送)。	2	【配信事業者】 配信先(CATV局)への連絡が可能。 【許可事業者】 提供事業者(CATV局)への連絡が可能。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者へ、メール・ホームページ告知・電話などでの連絡が可能。	【配信事業者/許可事業者】 配信契約時(システム・端末導入時)に、提供事業者向けに適切な利用について説明し、継続して情報提供を行う。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者との契約時に、実利用者向けに、適切な利用について説明。	×	満たした場合には、自社媒体などで発表予定。	
	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	○ ※ただし、通信装置(HE制御装置)～端末間は1対1(放送)。	2	【配信事業者】 配信先(CATV局)への連絡が可能。 【許可事業者】 提供事業者(CATV局)への連絡が可能。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者へ、メール・ホームページ告知・電話などでの連絡が可能。	【配信事業者/許可事業者】 配信契約時(システム・端末導入時)に、提供事業者向けに適切な利用について説明し、継続して情報提供を行う。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者との契約時に、実利用者向けに、適切な利用について説明。	×	満たした場合には、自社媒体などで発表予定。	
	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接点出力は、通常の電文と同じ動作。	○ ※ただし、通信装置(HE制御装置)～端末間は1対1(放送)。	2	【配信事業者】 配信先(CATV局)への連絡が可能。 【許可事業者】 提供事業者(CATV局)への連絡が可能。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者へ、メール・ホームページ告知・電話などでの連絡が可能。	【配信事業者/許可事業者】 配信契約時(システム・端末導入時)に、提供事業者向けに適切な利用について説明し、継続して情報提供を行う。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者との契約時に、実利用者向けに、適切な利用について説明。	×	満たした場合には、自社媒体などで発表予定。	

# 端末・配信状況調査 抜粋

事業者	製品名	製品の用途 A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御 C 端末の報知による人の危険回避	(1) 端末基礎機能					(3) 報知・制御出力条件設定機能						
			訓練報により訓練支援の報知ができる ○ できる × できない	訓練報により訓練用の外部出力を動作できる ○ できる × できない	端末単独で訓練報知できる ○ できる × できない	緊急地震速報(警報)による動作 ○ できる × できない	報知音の選択 ○ 可(デフォルトはREIC音) × 不可	予想した震度や猶予時間の報知を具体的な数値を使わない表現にしているか? ○ している × していない	緊急地震速報の精度情報による動作 ○ 機能なし × あり	100ガル超え緊急地震速報に対する動作 ○ 機能なし × あり	ある地震の緊急地震速報を受信した後、続けて別の地震の緊急地震速報を受信した場合の動作 ○ 機能なし × あり	深発地震についての緊急地震速報(報)に対する動作 ○ 機能なし × あり	キャンセル報を受信した際の動作 ○ 機能なし × あり	
	緊急地震速報端末装置	A	○	○	○	なし	可(デフォルトはREIC音)	○	機能なし ただし、受信装置兼通信装置での閾値設定は可能	キャンセル報と同じ動作を行う。 ※現在は配信事業者側でカット	識別IDに関わらず、受信の都度演算を行い、その時点で最も大きな予測震度で報知を行う。	通常の電文と同様に演算・報知する。	報知履歴の有無に関わらず、「先ほどの地震速報は振りです」のアナウンスを2回繰り返す。 ※接点出力は、キャンセル報用の主力端子が動作。	
三洋電機コンピュータエレクトロニクス株式会社	緊急地震速報受信装置	C	○	×	○	設定機能なし(動作しない固定)。	設定機能なし(NHK音固定)。	○	設定機能なし(1地点の緊急地震速報も使用する固定)。	設定機能なし(使用しない固定)。	予測震度の大きい方を報知する。	設定機能なし(動作しない固定)。	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。	
安全・安心サポート株式会社	緊急地震速報受信クライアント	A, B, C	×	×	○	設定機能有り。通常の動作と同じ	設定機能有り(デフォルトはREIC音、NHK音の設定可能)	○	設定機能なし	予測震度の大きい方を報知	設定機能有り(デフォルトは150kmより深い地震は演算しない)	既に報知した地震に対してのみ、文字と音声で告知する		
エヌ・エス・シー株式会社	SignalNow	A, B, C	○	○	○	同一地震IDで複数回送付された途中に(警報)情報を受けた場合は、割に(予報)通報を行っていた場合にも、警報通報に代えて通報を行い、以降は最後まで警報通報を継続。 但し警報時の予測震度が設定震度閾値以下の場合には通報しない。 (※震度閾値の設定を震度5弱よりも大きい値(5強以上)に設定した場合には、警報震度を越える値を設定しようとしている事を警告するメッセージを表示して注意を促している。) 震度閾値以下でも警報情報は必ず報知させるかどうかの設定機能を設けることは、対応可能。	設定機能あり。 デフォルトは、警報の場合はNHK音、予報の場合はREIC音。 利用者による独自の音に変更することも可能。	出荷時はカウントダウン方式に設定。 他にカウントダウンを行わない曖昧表現を3タイプ標準で用意しており、利用者でも設定変更が可能。	設定機能あり。 デフォルトは、震央の確からしさ=テリトリ法(2点)以上、震源深さの確からしさ=テリトリ法(2点)以上。	設定機能はないが、予報処理は行わない。 受信ログとしては記録。 震源震度情報が不明//となつている為、判断しては行わない。	報知内容が頻繁に変化する事による混乱を避けるために、最初の報知が完了するまで後続の緊急地震速報は、受信ログに記録することとする。	深発地震は報知しない。	直近で報知した地震に対してのキャンセル報が出されたときにのみ、キャンセル報が出されたことを音声で報知する。	
Takusu株式会社	Takusu-P II	A, B	○	○	×	可能	なし(NHK音のみ)	している○	コード電文36、37を使用(コード電文35は使用しない) 但し、RK指示符のデータの確からしさ指標(n)2~8のデータを使用した予報に変更予定	報知しない	①はじめの地震が端末設置場所に未到達と予測される場合は、新たな地震の予測震度階が以前のものより1以上大きくなった場合に震度階ならびに到達予想時間を更新する。 ②最新報知した地震が設置場所にすでに到達したと予測される場合は、新たな地震として取り扱う。	300km以上の深発地震については報知しない。 (揺れが来たのに通知がなかったというユーザーからのクレームがあったので深さ300kmまで演算し、顧客指定の震度階以上の場合に報知することにした。) 300kmより深くても体に感じる揺れがあるという顧客がいたが、深発地震の精度について説明し了解を得ている)	地震速報を報知した場合は「地震発生は誤報と判断されました」の音声ガイダンスと「キャンセル報の接点」を出力	
	Takusu-S	A, B, C	○	○	×	可能	なし(NHK音のみ)	している○ ただし、表示器では数字表示	コード電文36、37を使用(コード電文35は使用しない) 但し、RK指示符のデータの確からしさ指標(n)2~8のデータを使用した予報に変更予定	報知しない	①はじめの地震が端末設置場所に未到達と予測される場合は、新たな地震の予測震度階が以前のものより1以上大きくなった場合に震度階ならびに到達予想時間を更新する。 ②最新報知した地震が設置場所にすでに到達したと予測される場合は、新たな地震として取り扱う。	300km以上の深発地震については報知しない。 (揺れが来たのに通知がなかったというユーザーからのクレームがあったので深さ300kmまで演算し、顧客指定の震度階以上の場合に報知することにした。) 300kmより深くても体に感じる揺れがあるという顧客がいたが、深発地震の精度について説明し了解を得ている)	緊急地震速報を報知した場合は「地震発生は誤報と判断されました」の音声ガイダンスを流す。	
	Takusu-V 「一般向け」	C	○	該当しない	×			している○						
	Takusu-V II A1 「カウントダウン」	C	○	○	×			していない×	コード電文36、37を使用(コード電文35は使用しない)					
	Takusu-V II A2 「曖昧表現」	C	○	○	×	可能	なし(NHK音のみ)	している○	但し、RK指示符のデータの確からしさ指標(n)2~8のデータを使用した予報に変更予定	報知しない	①はじめの地震が端末設置場所に未到達と予測される場合は、新たな地震の予測震度階が以前のものより1以上大きくなった場合に震度階ならびに到達予想時間を更新する。 ②最新報知した地震が設置場所にすでに到達したと予測される場合は、新たな地震として取り扱う。	300km以上の深発地震については報知しない。 (揺れが来たのに通知がなかったというユーザーからのクレームがあったので深さ300kmまで演算し、顧客指定の震度階以上の場合に報知することにした。) 300kmより深くても体に感じる揺れがあるという顧客がいたが、深発地震の精度について説明し了解を得ている)	緊急地震速報を報知した場合は「地震発生は誤報と判断されました」の音声ガイダンスを流す。	
	Takusu-V II C 「簡易制御」	A, B, C	○	○	×			している○						
	Takusu-V plus 「一般向け」	C	○	該当しない	○			している○						
	現地演算サーバー「ドントこい」	A, B	○	○	×	設定機能なし:動作しない	設定機能あり:デフォルトはNHK音	していない×	画面表示については設定機能なし:1地点の緊急地震速報も使用する。外部出力については設定機能あり:デフォルトは1地点の緊急地震速報は使用しない。	画面表示については設定機能なし:動作しない。外部出力については設定機能なし:動作しない。	設定機能なし:常に新しい情報で更新。	設定機能なし:動作する。ただし、200km以上の場合は震度予測を行わないため動作しない。	既に出力した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。	
株式会社ドリームウェア	緊急地震速報受信装置	A, B, C	○	○	○	無	端末本体での選択は不可。オプションユニットでピーブ音、REIC音の選択が可能。(他社サウンドリピータ等の組み合わせでNHK音の報知が可能)	猶予時間10秒以下は、カウントダウンする。	無:1地点の緊急地震速報より反応する。	推定マグニチュードが無効の場合は動作しない。	閾値以上の震度に対し猶予時間の短い地震を報知	現状動作する 2010.6.25以降は、動作しない。	報知動作完了後にキャンセル報を受信した場合のみ動作。動作中のキャンセル報には反応しない。	
	緊急地震速報受信装置	A, B, C	○	○	○	無	端末本体での選択は不可。オプションユニットとの連動無し。	猶予時間10秒以下は、カウントダウンする。	有:初期設定は、1地点の緊急地震速報を使用する。	推定マグニチュードが無効の場合は動作しない。	閾値以上の震度に対し震度が大きくなった場合の地震を報知	現状動作する 2010.6.25以降は、動作しない。	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。	
	緊急地震速報受信装置	A, B, C	○	○	○	無	端末本体での選択は不可。オプションユニットとの連動無し。	猶予時間10秒以下は、カウントダウンする。	無:1地点の緊急地震速報より反応する。	推定マグニチュードが無効の場合は動作しない。	閾値以上の震度に対し猶予時間の短い地震を報知	現状動作する 2010.6.25以降は、動作しない。	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。	
	緊急地震速報受信装置	A, B, C	○	該当なし	○	無	無し	震度、猶予秒数をパネル上に表示する。	無:1地点の緊急地震速報より反応する。	推定マグニチュードが無効の場合は動作しない。	閾値以上の震度に対し一番新しい地震を都度更新	現状動作する 2010.6.25以降は、動作しない。	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。	
	緊急地震速報受信装置 専用オプションユニット	A, B, C	○	○ (オプション製品で対応可能)	○	無	端末本体での選択は不可。オプションユニットでREIC音の選択が可能。	猶予時間10秒以下は、カウントダウンする。	有:1地点の緊急地震速報より反応する。	演算装置に依存する。	演算装置に依存する。	閾値以上の震度に対し一番新しい地震を都度更新	現状動作する 2010.6.25以降は、動作しない。	既に報知した地震に対してキャンセル報が出されたときのみ動作する。
日本パナユーズ株式会社	緊急地震速報受信装置(SIGNAL BEET)	A, B, C	○(センター側で設定)	○	○(テスト報で対応)	設定機能有り	設定機能有り(デフォルトはREIC音)	○(特定モードで選択可)	設定機能有り(デフォルトは、1地点の緊急地震速報は使用しない)	設定機能有り(デフォルトは、予測震度が含まれない電文は採用しない)	予測震度が1以上大きい演算結果の場合、猶予秒数が短くなった場合に都度、通知	提出の補正演算式の演算結果により通知	既に報知した地震に対してキャンセル報が出された時に動作する	
	緊急地震速報受信装置(SIGNAL BEET Pro)	A	○(センター側で設定)	○	○(テスト報で対応)	設定機能有り	設定機能有り(デフォルトはREIC音)	○(特定モードで選択可)	設定機能有り(デフォルトは、2地点の緊急地震速報は使用しない)	設定機能有り(デフォルトは、予測震度が含まれない電文は採用しない)	予測震度が1以上大きい演算結果の場合、猶予秒数が短くなった場合に都度、通知	提出の補正演算式の演算結果により通知	既に報知した地震に対してキャンセル報が出された時に動作する	

# 端末・配信状況調査 抜粋

事業者			(4) 配信・許可事業者の能力					
	訓練報を受信した際の動作	テスト報を受信した際の動作	配信・許可事業者の通信能力	サーバーの機能	配信・許可事業者によるサポート			
			複数サーバーから端末に緊急地震速報を同時に配信している：○ していない：×	端末毎に利用者の求めに応じて訓練報・テスト報配信可能 どちらも配信している：1 テスト報のみ配信している：2 訓練報のみ配信している：3 どちらも配信していない：×	利用者に連絡する手段あり	利用者の利用方法の把握	サーバー-端末間の通信手順やデータフォーマットを公開 公開する：○ 公開しない：×	ガイドラインに記された必須項目を全て満たした場合にはその旨を公開
	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接続出力は、通常の電文と同じ動作。	通常の電文と同様に演算・報知する。ただし、報知の冒頭と最後に「テストです」とアナウンスする。 ※接続出力は、通常の電文と同じ動作。	○ ※ただし、通信装置(HE制御装置)～端末間は1対1(放送)。	2	【配信事業者】 配信先(CATV局)への連絡が可能。 【許可事業者】 提供事業者(CATV局)への連絡が可能。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者へ、メール・ホームページ告知・電話などの連絡が可能。	【配信事業者/許可事業者】 配信契約時(システム・端末導入時)に、提供事業者向けに適切な利用について説明し、継続して情報提供を行う。 【提供事業者(CATV局)】 実利用者との契約時に、実利用者向けに、適切な利用について説明。	×	満たした場合には、自社媒体などで発表予定。
三洋電機コンピュータエレクトロニクス株式会社	設定機能なし(動作する固定)。 訓練報を受けた際に「只今から緊急地震速報テストです」を2回繰り返して知らせる。訓練報の内容による報知を行う。	設定機能なし(動作する固定)。 試験報を受けた際に「緊急地震速報テストです」を2回繰り返して知らせる。試験報の内容による報知を行う。	該当せず	該当せず	利用者への連絡手段はありません。	販売時に利用者の利用形態を把握することはできません。	×	利用者への連絡手段はありません。
安全・安心サポート株式会社	設定機能あり(デフォルトは動作しない)	設定機能あり(デフォルトは動作しない)	○	3	顧客専用のメーリングリストを作成して、気象庁などの情報を定期的に配信。	顧客導入時に、顧客毎に管理表を作成し、利用形態を把握	○	ガイドライン利用時には対応
エヌ・エス・シー株式会社	設定機能無し。(現時点では動作しない。) 弊社オペレータによる独自のテスト電文を受けた場合には必ず動作し、冒頭に「只今から緊急地震速報の訓練報を通報します」と音声で報知し、最後に「只今のは、訓練通報でした。」と音声で報知する。 12月1日の訓練報には個別配信対応を検討中。	設定機能無し。(現時点では動作しない。) 弊社オペレータによる独自のテスト電文を受けた場合には必ず動作し、冒頭に「只今から緊急地震速報の訓練報を通報します」と音声で報知し、最後に「只今のは、訓練通報でした。」と音声で報知する。 端末に回答させるかどうかの設定機能は設けることは、対応可能。	×	×	手段あり。 緊急地震速報配信サービス利用契約時に、窓口担当者を登録し、メールや電話で連絡可能。 月次報告書(受信ログや通報ログ)を送付。 但し、日常連絡は、販売特約店を介して連絡、緊急時は、顧客の事前登録担当者へ連絡可能。気象庁からのお知らせ等は、販売特約店へ通達を指示。	通常は契約特約店を通じて把握。 利用事例の収集も行って居り、必要に応じて特約店や販売店と一緒にユーザ企業も訪問。 訓練現場や設置環境、ユーザの意向等の確認も行っている。	内容に応じて判断 ○	ガイドライン制定後には明示を行う。
Takusu株式会社	音声ガイダンスの前に「訓練」の音声を追加して、送られた緊急地震速報(業)の内容に応じた動作を行い、到達予測時刻に「到達を示す破壊音」を流す。また、訓練接続点出力するように設定可能。任意の接続点出力しないようにも設定可能。但しこれらの接続点出力の設定は出荷時設定に限る。	(1)サーバーと端末間の通信が健全であることを確認する時報信号一顧客と定めた時刻に毎日自動的にサーバーから端末に送信する。(各端末ごと個別に設定) ＜端末の動作＞時報音「ビッピッピ、ビッピッピ、ビッピッピ」が流れる。利用者は毎日決まった時刻にこの時報音を聞くことによりシステムが正常に動作していることを確認することが出来る。 (2)動作試験に必要な任意の電文を送る。(サーバから必要な端末に対して必要な日時に送る)	○	1	契約申込書に連絡先(電話とメール)を記入していただくことを要求している。サーバーには複数箇所のメール配信先を記憶可能(緊急地震速報のメール配信は配信契約が必要)別途、契約により利用者の希望に対応することも可能	商品説明・提案時に把握 設置調整時に確認	公開する：○ 「条件による」 (成りすまし防止などシステムの安全性を保つために、情報漏えい防止の徹底された、本当に必要な相手先へのみ可。)	明示します。
	音声ガイダンスの前に「訓練」の音声を追加して、送られた緊急地震速報(業)の内容に応じた動作を行い、到達予測時刻に「到達を示す破壊音」を流す。接続出力は通常通りの出力する。	(1)サーバーと端末間の通信が健全であることを確認する時報信号一顧客と定めた時刻に毎日自動的にサーバーから端末に送信する。(各端末ごと個別に設定) ＜端末の動作＞時報音「ビッピッピ、ビッピッピ、ビッピッピ」が流れる。利用者は毎日決まった時刻にこの時報音を聞くことによりシステムが正常に動作していることを確認することが出来る。 (2)動作試験に必要な任意の電文を送る。(サーバから必要な端末に対して必要な日時に送る) ＜端末の動作＞上記電文に応じた動作(たとえば音声ガイダンスのみ)	○	1	契約申込書に連絡先(電話とメール)を記入していただくことを要求している。サーバーには複数箇所のメール配信先を記憶可能(緊急地震速報のメール配信は配信契約が必要)別途、契約により利用者の希望に対応することも可能	商品説明・提案時に把握 設置調整時に把握 利用申込書にて推察	公開する：○ 「条件による」 (成りすまし防止などシステムの安全性を保つために、情報漏えい防止の徹底された、本当に必要な相手先へのみ可。)	明示します。
	音声ガイダンスの前に「訓練」の音声を追加して、送られた緊急地震速報(業)の内容に応じた動作を行い、到達予測時刻に「到達を示す破壊音」を流す。但し、機種バージョンによっては通常の緊急地震速報(業)として報知するものも有る。	(1)サーバーと端末間の通信が健全であることを確認する時報信号一顧客と定めた時刻に毎日自動的にサーバーから端末に送信する。(各端末ごと個別に設定) ＜端末の動作＞時報音「ビッピッピ、ビッピッピ、ビッピッピ」が流れる。利用者は毎日決まった時刻にこの時報音を聞くことによりシステムが正常に動作していることを確認することが出来る。 (2)動作試験に必要な任意の電文を送る。(サーバから必要な端末に対して必要な日時に送る) ＜端末の動作＞上記電文に応じた動作(たとえば音声ガイダンスのみ)	○	1	契約申込書に連絡先(電話とメール)を記入していただくことを要求している。サーバーには複数箇所のメール配信先を記憶可能(緊急地震速報のメール配信は配信契約が必要)別途、契約により利用者の希望に対応することも可能	利用申込書にて推察	公開する：○ 「条件による」 (成りすまし防止などシステムの安全性を保つために、情報漏えい防止の徹底された、本当に必要な相手先へのみ可。)	明示します。
	設定機能あり：デフォルトでは動作しない。動作する設定では、Takusu-P II に対してTEST種別として出力するとともに、PC画面でも「訓練報」と表示する。	サーバからのテスト報なし	○	×	あり：契約申込書にて連絡先(電話とメール)を記入していただく。	設置調整時に把握 利用申込書にて推察	公開する：○「条件による」	明示します。
株式会社ドリームウェア	冒頭「配信テストです」で鳴動する。端末側での非動作選択：不可	実際の地震と同じ動作をする。端末側での非動作選択：不可	×	2	有：連絡は当社の代理店・販売店を通じて行うため時間的制約を伴う。配信先利用者に関しては電話番号、メールアドレスが登録されており直接通知可能。但し代理店・販売店を通じて行うことを基本的とする。	利用形態は把握していないが代理店・販売店経由で確認可能。	×	未定
	冒頭「配信テストです」で鳴動する。端末側での非動作選択：不可	実際の地震と同じ動作をする。端末側での非動作選択：不可	×	1	有：連絡は当社の代理店・販売店を通じて行うため時間的制約を伴う。配信先利用者に関しては電話番号、メールアドレスが登録されており直接通知可能。但し代理店・販売店を通じて行うことを基本的とする。	利用形態は把握していないが代理店・販売店経由で確認可能。	×	未定
	冒頭「配信テストです」で鳴動する。端末側での非動作選択：不可	実際の地震と同じ動作をする。端末側での非動作選択：不可	弊社では本端末に向けた配信はしていない。	2	無：売り切りの為、利用先の特定ができない。	端末販売経路が複数に枝分かれていることと配信元が弊社で無いことから利用形態を把握することは不可能。	弊社では本端末に向けた配信はしていない。	販売終了のため予定無し
	V1.4は、訓練報の演算結果の配信可否の選択が可能。 V1.3は訓練報の配信を行わない。	実際の地震と同じ動作をする。端末側での非動作選択：不可	×	1	有：メール、電話にて直接担当者で連絡が可能。	利用形態は把握している。	×	未定
	冒頭「配信テストです」で鳴動する。端末側での非動作選択：不可	実際の地震と同じ動作をする。端末側での非動作選択：不可	×	1	担当ケーブル局が、エンドユーザーと直接連絡が可能	担当ケーブル局が把握。	×	未定
冒頭「配信テストです」で鳴動する。端末側での非動作選択：不可	実際の地震と同じ動作をする。端末側での非動作選択：可	該当なし	該当なし	それぞれの販売形態による。	基本的に把握。	該当なし	該当なし	
日本バナナーズ株式会社	デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、訓練報を受けた際には警報音の後に「テストです」を報知。 デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、訓練報を受けた際には警報音の後に「テストです」を報知。	デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、テスト電文を受けた際の設定条件で動作。 デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、テスト電文を受けた際の設定条件で動作。	×	3	緊急地震速報に係るお知らせやサーバ保守によるサービス停止の通知等をWebサイトにアップ(特別な場合は電話連絡あり)	端末販売時に利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施	×	ガイドライン制定時には対応予定
	デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、訓練報を受けた際には警報音の後に「テストです」を報知。	デフォルトは動作しない設定。動作する設定では、テスト電文を受けた際の設定条件で動作。	×	3	緊急地震速報に係るお知らせやサーバ保守によるサービス停止の通知等をWebサイトにアップ(特別な場合は電話連絡あり)	端末販売時に利用者の利用形態を把握し、緊急地震速報の適切な利用について、助言を実施	×	ガイドライン制定時には対応予定